

新型コロナワクチン接種の体制整備に関する緊急要望



市長に緊急要望を提出する会派役員代表

令和3年6月16日、札幌市議会自由民主党議員会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の強化と、市内における経済活動の正常化を両立させるため、一日でも早くより多くの市民へのワクチン接種が速やかに実施されるよう、秋元市長に直接強く求めました。

下記内容は、当日提出した「緊急要望」の内容であります。

令和3年月6月16日

札幌市長 秋元克広様

札幌市議会自由民主党議員会
会長 山田一仁

新型コロナワクチン接種の体制整備に関する緊急要望

新型コロナの感染が確認されてから約1年半が経過したものの、感染の波はいまだ衰えず、重症者数の高止まりや医療体制の厳しい状況が続いており、目下本市も緊急事態宣言が発令されている状況下にあります。

感染拡大防止対策として人流の抑制が求められている一方で、飲食や観光事業者を始めとする経済活動へのダメージも極限に達している状況でもあり、この双方を両立させていくためには、幅広い世代のより多くの方にワクチン接種をできる限り急ぎ、社会的防御を確立させ経済活動の正常化を急ぐことが何よりも急務と考えます。

本市においても、既に医療従事者・高齢者を先行してワクチン接種が開始されていますが、一日でも早くより多くの市民のワクチン接種が速やかに実施されるよう、下記のとおり強く要望いたします。

記

1 ワクチン接種対象の迅速な拡大

- (1) 65歳から74歳の接種券の発送が始まっているが、接種予約動向をしっかりと把握しながら、並行して64歳以下世代への対象拡大を進めるなど、接種対象世代の効率的な拡大を早急に検討・実施すること。
- (2) 医療・介護分野をはじめとするエッセンシャルワーカーへの優先接種を円滑に行うよう、市民の生活を支える方々を含め、対象業種の拡大を早急に図り、具体的な準備に向けて関係者との協議を進めること。
- (3) 企業・団体における職域接種の実施を促し、医師の確保など接種体制の整備を積極的に支援すること。また、度重なる営業自粛等により大きなダメージを受けている飲食関係事業者など、単独では体制構築が難しい中小事業者・団体などに対しては、対象人員の引き下げや費用負担などを検討し、必要であれば国費の充当も要望していくこと。

2 接種会場の拡大・効率化について

- (1) 接種のスピードアップには集団接種会場の拡大が有効であり、現状4か所の運用目途が立っているが、①徒歩圏内に接種会場がない、②会場への移動手段が不便などといった声もあることから、医師会をはじめとする関係機関とさらに協議を進め、市内全域でバランスよく接種会場を設置できるよう検討を急ぐこと。
- (2) 他の自治体などの有効な事例などを参考とし、時間単位当たりのワクチン接種回数を増やせるよう、医療従事者側が移動して問診や接種を行えるよう、動線やオペレーションを改善すること。
- (3) 予約キャンセルをシステム化して予約の効率化を図るとともに、キャンセル分の現場での柔軟な接種を可能とすること。
- (4) 接種会場に行くことが困難な市民のために、往診接種等のフォロー体制の検討やバス・タクシーの活用策など、確実かつ円滑に接種出来る仕組みを検討・構築すること。